

# イベント運営などの現場での 意思疎通にBlueParrott! 現場で使いやすく、 管理・オペレーションもしやすい トランシーバー機能対応 ワイヤレス片耳ヘッドセット



Microsoftは世界最大級のカンファレンス『Microsoft Ignite』を、2022年10月13日～14日(日本時間)に開催した。同日、日本マイクロソフトはサテライトイベント『Microsoft Ignite Spotlight on Japan』を開催。東京ミッドタウンホールを会場とした、同社にとって約2年半ぶりとなるリアルイベントだ。ここでトランシーバーの代わりに使われたのが、ヘッドセット「BlueParrott C300-XT MS」と、Microsoft Teamsのトランシーバー機能「Walkie Talkie」の組み合わせだ。

## 日本マイクロソフト社の大規模イベント成功を裏で支えた Microsoft Teamsトランシーバーのためのヘッドセット

「イベント当日は現場にいるマイクロソフト社員の分と、イベントの制作・運営をお願いしたケーススタッフの皆さま分、合計30台のBlueParrott C300-XT MSを、各自が持つスマートフォンと連携させて使用しました。久々のリアルイベントということもあって、Microsoft Teamsのトランシーバー機能(Walkie Talkie)を自分たちで試すにはもってこいの機会だと思ったのです」

「Microsoft Teamsはまだまだ会議機能のイメージが強いですが、実は現場で働くフロントラインワーカー(現場担当者)向けのソリューションも数多く開発しています。このトランシーバー機能も、その一つです。今回BlueParrottによってスマホだけで現場間のコミュニケーションを実現できたのは、まさにシンボリックなところだと思います」

そう語るのは、日本マイクロソフトにてマーケティングコミュニケーションマネージャーを務める相場さんと、プロダクトマーケティングマネージャーを務める加藤さんだ。そもそも、なぜ数あるヘッドセットからBlueParrottが選ばれたのか?相場さんが、その理由を端的に答えてくれた。「Microsoft Teamsのトランシーバー機能との相性や互換性を考慮した結果、ヘッドセットはBlueParrott一択でした」

### COMPANY

Customer : 日本マイクロソフト株式会社  
Website : <https://www.microsoft.com>  
Country : 日本

Customer : 株式会社ケーススタッフ  
Website : <http://www.ksstaff.co.jp>  
Country : 日本

### PROFILE

【日本マイクロソフト株式会社】

日本マイクロソフト株式会社は、米国に本社を置くマイクロソフトコーポレーションの日本法人。インテリジェントクラウド、インテリジェントエッジ時代のデジタルトランスフォーメーションを可能にしている。近年ではWeb会議やチャットのツールとして多くの企業に採用されているMicrosoft Teamsを、オフィスワークだけでなく工場や工事、店舗、配送などのフロントライン業務でも活用できるようにするための開発を進めている。

【株式会社ケーススタッフ】

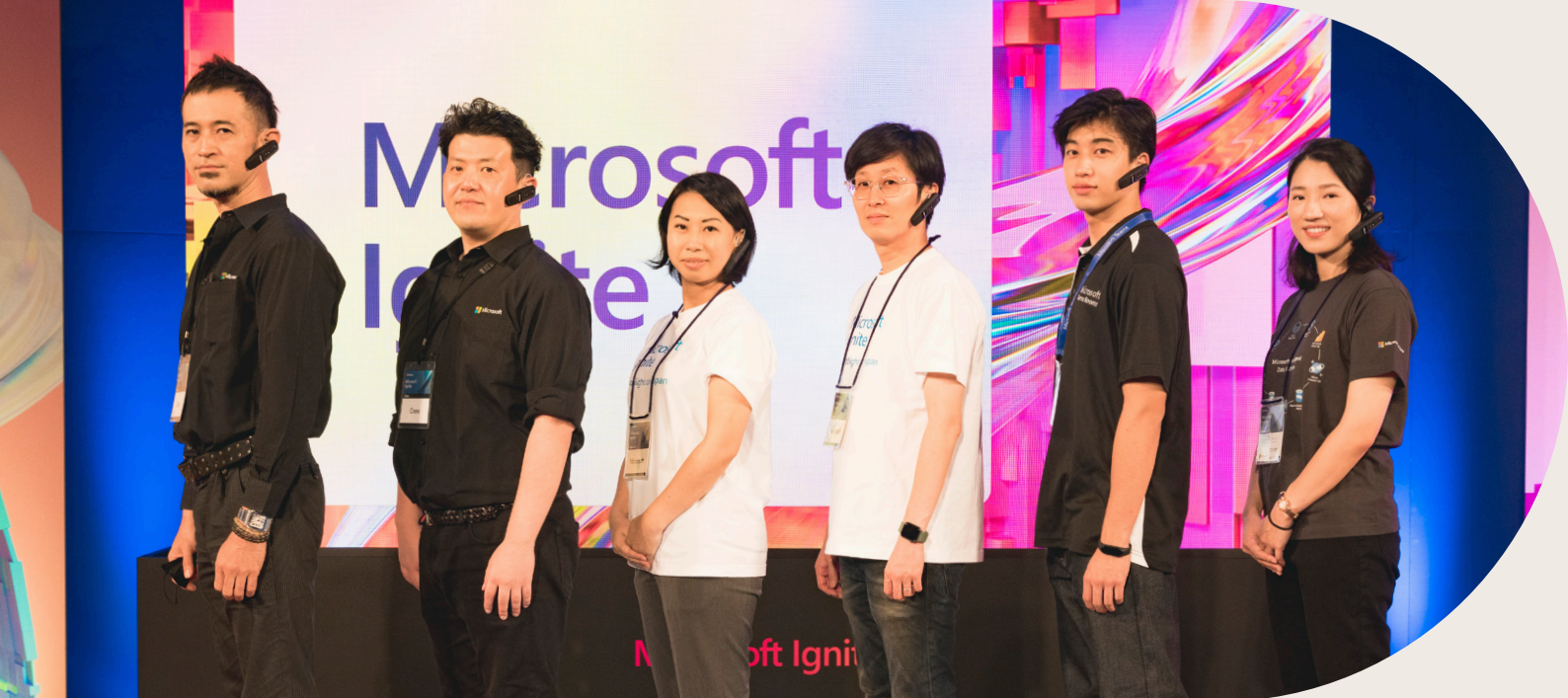
様々なイベントを媒体としたイベントプランニング&プロデュースの提供を行っている「株式会社ケーススタッフ」。1991年創立以来、イベント制作の実績は20年以上。業種業態を問わず、国内・海外のクライアントの、様々なイベント案件を支えている。近年ではオンラインイベント、ハイブリッドイベントなど、リアル/デジタルの枠にとらわれない、最新の開催形態に対応したさまざまな分野のイベントの企画・制作も強力にサポートしている。

### SOLUTION

#### BlueParrott C300-XT MS

■商品番号 204200





## 服にも耳にも着けづらいという「あるある」を解決 現場で使いやすい装着感と高音質

日本マイクロソフトセントラルマーケティング本部 栗原さんはBlueParrottと通常のトランシーバーの違いをこう話す。

「普通のトランシーバーでは、ベルトのない服装だと本体を取り付ける場所がありません。また、私の耳は形があわず、ぐりぐりと耳の奥に入れないとすぐに落ちてしまっていました。BlueParrottならワイヤレスなので服装を選ばず装着できますし、耳に触れるパーツを選べるので、私の耳にも違和感なくフィットします。髪型が崩れにくいネックバンド方式など、装着方法を選べるのも嬉しい点です」

加えて、今回のイベントの制作・運営を統括したケーススタッフ代表取締役鳥海さんがBlueParrottの使い勝手を評価する。

「取り付ける位置がない、耳にあわないというのはトランシーバーあるあるですね。BlueParrottはそれらを解決するソリューションになります。ワイヤレスでありながら、広い会場でも問題なく使えることや、バッテリーが充分持つことも今回のイベントで確かめることができました」

また、鳥海さんはBlueParrottの音質・ノイズキャンセリング性能を称賛した。「音質の良さはハッキリと感じました。騒がしい現場でも『もう一回言って!』という聞き返しがありませんでした!」

## スマホだから柔軟に繋がれてオペレーションも楽に 人員やデバイスの管理コストも軽減

現場で使いやすいBlueParrottだが、一方で現場管理者にはどのような利点があるのか?現場を担当した、ケーススタッフ 企画制作部の鈴木さんはこう説明する。

「BlueParrottは皆のヘッドセットの装着状態をスマホで確認できるので『何度も呼びかけたがトランシーバーが外れているから反応がない』というのを防いで、オペレーションがやりやすくなりました。直感的に使えるから操作を教える手間もなく、スマホにTeamsが入っていれば設定や連携も簡単です」

ほかにも、通信範囲に縛られない点も画期的だとは話す。

「BlueParrottなら現場にいないでも繋がれます。今回のイベントでも、現場の警備スタッフが、当日会場にいない、遠方の警備担当者に指示を仰ぐという場面が実際にありました。在宅で現場にオペレーションを出せば人員配置も工夫できます。」最後にケーススタッフ代表取締役 鳥海さんがあらためて、コスト面のメリットについても語ってくれた。

「トランシーバー導入のハードルは低くありません。免許制、かつ機種によっては導入に百万円以上かかることもある上、免許取得にも日頃の機材のメンテにも手間暇がかかります。これまでは厳選したスタッフにしか渡せませんでした。BlueParrottであればコストを軽減し、全員に配布することも可能になるでしょう」時間、場所、デバイスの制約を取り払い“クラウド活用するトランシーバー”として活躍するBlueParrottは、今後の現場の働き方を大きく変える可能性を持っていると言えそうだ。

In cooperation with



### Jabra Case Study - 日本マイクロソフト株式会社 / 株式会社ケーススタッフ

左上から 日本マイクロソフト株式会社 加藤 友哉 氏 / 日本マイクロソフト株式会社 栗原 春香 氏  
日本マイクロソフト株式会社 相場 裕美 氏 / GNオーディオジャパン株式会社 高澤 俊行 氏  
左下から 株式会社ケーススタッフ 鈴木 竜太 氏 / 株式会社ケーススタッフ 鈴木 秀之 氏 /  
株式会社ケーススタッフ 代表取締役 鳥海貴之 氏

